

# やってくる人工知能 「ディープ・ラーニング」の世界

ご購入はこちら

牧野 浩二, 西崎 博光

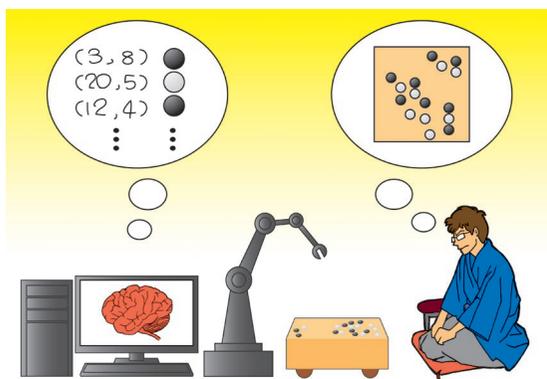


図1 人工知能は人間(しかもその道のプロ)に勝てる時代が来ている

### ヒタヒタと近づいてくる人工知能時代

人工知能が世界で注目を集めています。例えば、企業や専門家が行った以下の事柄はニュースになりましたので、皆さんもよく知っていると思います。

#### ● 人間(その道のプロ)に勝つ

人工知能が囲碁のプロに勝てるようになったという

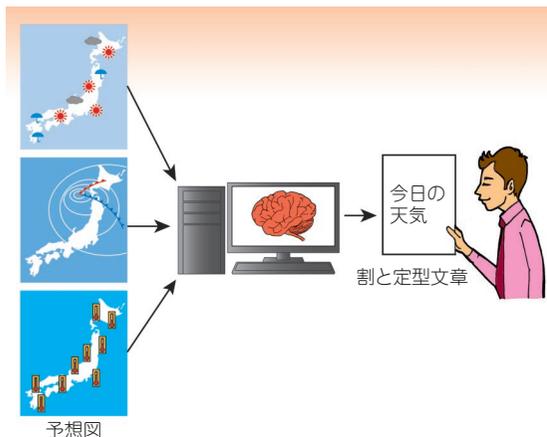


図2 すでに実用①…天気予報の記事などは書ける

ニュースから2~3年経ったような気がします(図1)。人工知能には石の位置を座標データとして入力するようです。すると次の1手が座標データとして出力されます。そのため学習データも座標データとなっています。何万という盤面を学習し、2つの人工知能搭載コンピュータで対局させながら、どんどん強くなっていきます。他には盤面を画像として状況を認識する方法もあるようです。

#### ● 実用①…人間が読む記事を書く

天気予報は、これまでに記事になった膨大なテキスト・データがあります。そのパターンというのは割と限られています。この膨大なテキスト・データを人工知能で学習し、最新の気象情報と合わせて天気予報の記事を書いています(図2)。

これを応用して、経済や政治、スポーツなど、ジャンルを区切って学習させることで新聞記事も書けるようになってきたようです。

#### ● 実用②…気の利いた翻訳をする

1対1に単語を置き換えるエンコーダ-デコーダ・モデルに、文脈を理解するための人工知能をミックスして実現しています。さらに、その出力された訳文と過

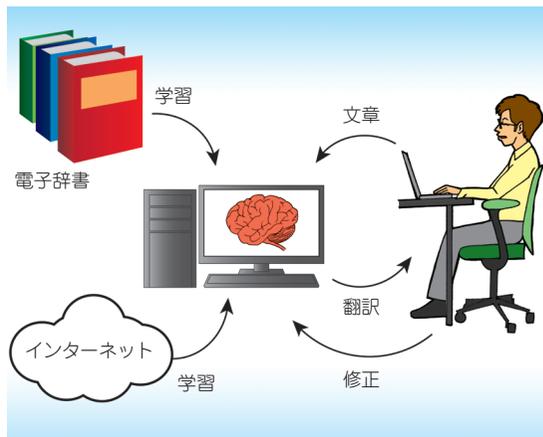


図3 実用②…気の利いた翻訳をする